

平成26年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1495300244	事業の開始年月日	平成24年11月1日
		指定年月日	平成24年11月1日
法人名	株式会社日本アメニティライフ協会		
事業所名	花物語たかつ南		
所在地	(〒213-0026) 川崎市高津区久末2112-1		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成26年2月6日	評価結果 市町村受理日	平成27年6月3日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先
----------

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>花物語たかつ南は南武線武蔵新城駅より綱島行きバスで約15分のところにあり、近くには川崎野菜の畑が広がる静かな環境のなかにあります。施設は平成24年11月1日に認知症対応型共同生活介護と小規模多機能型居宅介護を同一建物に併設し開所致しました。</p> <p>施設理念の「笑顔ある暮らし」に基づいて、家庭的な雰囲気を大切に、元気ある毎日を送っていただけるように、笑顔の絶えない環境作りに取り組んでいます。また、開所以来食事は毎食手作りの物を提供しご入居者様、ご家族様に喜んでいただいています。</p>
---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成27年2月24日	評価機関 評価決定日	平成27年5月12日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p><b>【事業所の概要】</b> この事業所は東急田園都市線、JR溝の口駅からバスで約20分、鷹巣橋バス停から徒歩8分の住宅地にある。平成24年11月開設の鉄骨造3階建ての建物である。1階に同法人の小規模多機能型居宅介護事業所があり、2、3階が当事業所である。事業所の駐車場の隣には無人野菜販売スタンドがあり、地域の人が買いに来る、のどかな場所である。</p> <p><b>【理念を実現するための職員の努力】</b> 事業所の理念は「笑顔ある暮らし、人が主役、地域に愛される施設」で、今年度の行動指針は「気づき、考え、行動する」である。職員が利用者一人ひとりと対面しその思いに気づき、自分でまず考え、良いと思ったら仲間と共有しながら、利用者の思いを実現するために行動できるように努力している。行事の案内を積極的に行い、クリスマスイベントにはほぼ全家族の参加を得ているほか、外食や面会時に利用者と一緒に食事をとってもらう機会を積極的に設けている。また、同業者の集まりに参加したり、他事業所からの見学を受け入れたりすることでネットワークを構築し、サービス向上につなげている。</p> <p><b>【手作り食事のこだわり】</b> 管理者は、利用者の最大の楽しみは食事だと考えている。食材は業者に届けてもらうが、調理はフロアごとにし、利用者が匂いや調理の雰囲気を感じられるようにしている。月1回の「旬のごはんの日」は、栗ご飯、豆ご飯、筍ご飯、炊込みご飯、お赤飯など、季節感を取り入れた食事を提供している。</p> <p><b>【地域とのかかわりを深める工夫】</b> 地域の夏祭りにはお祝いをもって参加し、お神輿が事業所にも訪れてくれた。事業所の夏祭りのお知らせにゲームの無料券を付けて配布したところ、子供や近所の方の参加を得た。「クリスマス・リースの作り方」の催しを実施した際には、駐車場に掲示板を設置して開催を案内し、近所の方が大勢参加してくれた。避難訓練も積極的に参加を呼び掛けている。</p>
---

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語たかつ南
ユニット名	ユニット2 (2階)

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設時に作成した理念を玄関、事務室各ユニット、休憩室に掲示し、ユニット会議時に確認を行い、職員全員が理念に添った支援を心がけ少しでもご入居者にとって安心かつ楽しく過ごして頂けるよう支援しています。	開設時の職員が話し合っって理念「笑顔ある暮らし、人が主役、地域に愛される施設」を作成した。理念は玄関、各ユニット事務室、スタッフルームに掲示している。職員には入職時の面談で話し、申し送り時に確認している。職員が迷ったときは、理念に沿っているか、常に笑顔の利用者が中心にいるかを確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の敬老会やお祭りに参加し散歩時には近隣の方から声をかけていただいています。地元的美容院や商店の利用も積極的に行っています。昨年夏には地域の方をお招きし、夏祭りを実施しました。	町内会への挨拶はオーナーが同行して、つながりのきっかけを作ってくれた。運営推進会議で町内会行事や地域の情報を得ている。夏祭りに参加し、お神輿が事業所を訪れてくれる。小学校のバザーに参加して花の苗や野菜を買ったこともある。事業所の夏祭りでは、無料ゲーム券付のチラシを配ったところ、子供や近所の方の参加を得た。駐車場に掲示板を設置し、「クリスマスリースの作り方」の案内を貼ったところ、近所の方が大勢参加してくれた。歌、フラダンスのボランティアが来訪している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設でのイベントにご参加いただいた方へ施設の説明や認知症、介護保険についての説明をしています。また運営推進委員会では介護保険や成年後見制度等の説明を行っています。施設で救命講習を実施した際には近隣の方、地域包括センター職員のご参加もいただきました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月第4水曜日にグループホームと併設の小規模多機能居宅介護と合同で定期的に行っています。2ヶ月間の報告の後、質問やご意見をいただき地域情報を伺い参考にしています。ボランティアのご紹介もいただいています。	運営推進会議は併設の小規模多機能型居宅介護と合同で年6回開催した。参加者は利用者、家族、地域包括支援センター職員、町内会副会長、民生委員、オーナー、管理者である。利用者の入居状況、スタッフの入退職、行事、事故報告等を行っている。管理者は民生委員の紹介で、社会福祉協議会で介護について講演をした。	

5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センターを定期的に訪問し運営推進会議や施設イベントをお伝えしたり受け入れについてのご相談をいただいています。また今年度から久末地区グループホームの集まりを実施しその際には高津区役所担当者から情報やご意見をいただいています。</p>	<p>市町村の担当部署は高津区高齢・障害課で、運営推進会議の議事録を郵送している。集団指導者講習会に参加している。今年度から3ヶ月に1回、久末地区のグループホーム4ヶ所の集まりを持つようになり、区役所の方も参加して、事例研究や情報交換をしている。</p>	
---	---	---	--	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ユニット会議時に「身体拘束ゼロの手引き」をもとに研修を行い職員間で共有しています。施設玄関の施錠については防犯上施錠していますが、入居者様のご希望に応じて職員とともに外出していただいています。	契約書などに身体拘束等を行わないことを明記している。「身体拘束ゼロの手引き」を用い、年1回研修している。職員にはベッドの柵の使用や「座って」「ちょっと待って」などの言葉も拘束にあたる事を周知している。玄関の鍵は防犯上施錠しているが、ユニット入口は日中施錠していない。帰宅を望む場合は職員と一緒に外出して、移動を制限しないようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての研修会を行い、事例検討を含め、どのような場合が虐待になるのかを話し合っています。疑問や問題はユニット会議時に確認し合い理解を深めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についての研修を行い、実際入居者様にも成年後見制度を利用している方もいるため身近に感じる事が出来ています。運営推進会議を利用し成年後見人の方の説明会を実施し理解を深めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては、個々の不安材料を時間をかけ話し合い、ご納得の上でご入居いただいています。特に終末期ケアや医療行為に関する疑問を具体的に説明し、転倒の不安がある方には対応方法の具体例を挙げてご理解をいただいています。		

10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映          利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や随時の電話連絡、担当者会議により、ご家族様の意見を取り入れるように努めています。その際には支援経過を記録し職員間で共有しています。また運営推進会議時にボランティアの紹介や食事の要望などいただいたご意見を運営に反映させています。</p>	<p>家族からの意見は土・日の家族面会時に聞くことが多い。クリスマス会や夏祭りにはほぼ全員の家族が来所する。以前はクリスマス会をフロアごとに実施していたが「一緒に開催してほしい」との要望があり、同日開催にした。「職員の顔と名前が分からない」との意見があり、階ごとに職員全員の顔写真と名前を貼った。「きちんとした身なりをしてほしい」との意見には、利用者の意向を聞きながら、季節に合った身だしなみができるよう整容の支援をしている。</p>	
----	---	--	--	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者へは会社全体の運営会議、川崎地区での会議を通じ施設からの意見や提案を行っています。職員からの意見などは毎月のユニット会議や日々の申し送り時に取り入れ、業務分担の見直しや物品購入等を行っています。また話にくい事は相談窓口の電話番号を掲示しています。	職員の意見は朝の申し送り時や月1回のフロア会議の時に聞いている。職員から意見を集める仕組みとして「気づきカード」があるが、実際には口頭で聞き取ることが多い。物干し台やベンチの買い替え、使いやすいファイルの購入など、意見が職員からあり、実現させた。「夏祭り、クリスマス会などの行事の時に短時間勤務の方を採用してほしい」との要望があり対応した。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	契約更新時に個人面談を行い、就業時間の増減や、契約社員や社会保険の加入についての希望、契約条件の確認を行っています。無資格者には、資格取得支援制度などの奨学金制度も整備し案内をしています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修の定期的な実施や外部研修への参加、資格取得を推奨するなど、個々のスキルの向上を働き掛けています。導入研修の実習施設として他施設職員の受入や初任者研修の実習生を迎える事で多くの気づきを得ています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市町村等からの研修や連絡会への参加、他施設からの見学を受け入れる事により同業者とのネットワークを構築しサービスの質の向上に努めています。また久末地区グループホームの集まりを持ち他事業者との情報交換や交流も行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の要望や不安を伺い、利用開始前にはアセスメントをしっかりと、ご家族様からは「私の歴史」「暮らしの情報」もご記入いただき入居後のケアに活かしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が困っている事、不安な事、施設での暮らし方の希望などを伺い、安心してご入居いただけるように職員間で相談し対応しています。入居後も面会の機会をたくさん作っていただけるように声をかけ環境を整えています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談初期の段階で入居者様やご家族様のニーズ、置かれている物理的・精神的環境を考慮し、グループホームが適切か、小規模多機能居宅介護や他サービスの利用が適切かを見極めた施設への紹介も行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	これまでの生活習慣等を考慮に入れ、入居者様のペースで何か役割と思える事、生活のハリとなる事柄が見つけられるように働きかけ、ともに支え合う間柄になる様に努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	常にご家族様の意見を反映できるように、入居者様の意見を共有し一方通行にならない様に努めています。施設行事への参加の案内、外食や面会時一緒に食事を摂っていただく機会を設けるなどの支援を行っています。外部受診時の付き添いや居室の衣替えなど出来る範囲内でご協力をいただいています。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	ご家族様や親戚の方、友人などからの電話の取り次ぎ手紙の投函などご希望に添うように努めています。また面会時には居室にテーブルとお茶を運びゆっくりくつろいでいただける環境を作っています。入居者様から行きたい場所など外出の希望を伺ったときはご家族に繋ぎご協力をいただき行っています。	友人、馴染みの訪問美容師などの訪問がある。以前の担当ケアマネジャーが様子を見に来ることもある。訪問時には、居室に通してお茶でもてなす。馴染みのコンビニエンスストアへ買い物に行ったり、近くの美容院への送迎を職員が家族に代わってするなど、関係継続を支援している。手紙の投函や電話の取り次ぎをしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の出来る事、出来ない事を把握し無理なく参加できる場への声掛けや役割を作りだすように努めています。食事席の配置などにも気をつけています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご退居先の病院への面会や、ご家族様への手紙や電話で、困った事等ご相談していただけるように努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のケアの中での会話や行動から、思いや希望を把握し申し送り時やカンファレンス時に職員間で共有しています。思いを表現できない方は声掛けの方法を工夫したり、ご家族様から以前の様子を伺い把握に努めています。	利用開始時に家族から意向をよく聞いている。利用者と話をしている中で、意思表示のサインを見逃さないように注意している。「ここでの生活はいかが?」「食べたい物ある?」などと問いかけ、答えを導きだし対応している。外食の希望があり、利用者、家族、管理者の5~6人で出かけた。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人からの聞き取り、ご入居前の担当ケアマネジャーからの情報、ご家族様からの「私の歴史」「暮らしの情報」をご記入いただく事により把握に努めています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送り時やカンファレンス時に職員からだされた情報を職員間で共有しています。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員一人一人の日々の小さな変化や気づきの把握と個人記録への支援項目実施内容の記入等をもとに再アセスメント時には担当職員も協力して行い、介護計画に反映させています。	入居時に居室担当者がアセスメントを実施し、長期目標は原則6ヶ月、変化があった場合は随時見直している。カンファレンスは毎月、モニタリングは3ヶ月に1回行い、計画に番号を付け、実行した時は個人記録にその番号を記入している。夜勤は赤で記入する。医師の意見は往診記録に記入して把握している。本人から意見を聞けない場合は職員の意見を聞いている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に時間ごとのご様子や入居者様の発言等を記録しています。また介護計画書の実施状況の記入も行い職員全員が介護計画書に添ったケアを日々心がけています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に現状必要なサービス、今後必要なサービスは何かを考え、本人と家族の関係性を考慮しながらかかりつけ医の受診支援、申請代行などに取り組んでいます。入居者様、ご家族様の要望があった際には該当するサービスを取り入れています。(訪問マッサージ)		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方のボランティアの受入れ、近隣の美容室などの利用を通し豊かな暮らしを支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医による月2回の往診を受けていただき心身状態の把握と適切な医療を受けられるよう支援しています。入居者様から直接医師に希望を伝える場合もありますがご家族様からの希望や方向性を伺ったときは、事業者が間に入り伝えています。また直接往診に合わせてお越しいただき往診医とお話をしていただく事もあります。耳鼻科や整形外科、物忘れ外来等の専門医への外部受診はご家族様対応が基本ですが、状況により職員が対応しています。外部受診の際には必要に応じ往診医からの情報提供書を発行していただき連携に努めています。	訪問医と訪問歯科医の往診がそれぞれ月2回ある。訪問看護師は週1回訪問がある。耳鼻科、整形外科、眼科、物忘れ外来、パーキンソン病の専門医の受診や、ペースメーカー使用者については基本的に家族対応だが、状況によっては職員が対応することもある。服用している薬など、利用者ごとの情報を「事前連絡票」に記入して、往診医に事前に提供している。	

31	<p>○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者様の情報は申し送り時や申し送りノートに記載し職員、看護職員間で共有しています。看護職員は看護記録に記載し適切な情報が往診医に伝えられるように取り組んでいます。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は施設での様子や往診医からの情報提供書を迅速に提供し関係作りに努めています。ご家族様と連携し面会や必要な日用品の届け、ムンテラへの同席、ソーシャルワーカーとの連絡などを行い退院後の支援に活かしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	指針について入居契約時に説明し同意書をいただいています。病気については状態の変化に応じ早い段階でご家族様と十分に話し合い往診医と連携を取り、話し合いの場を作っています。施設内では必要に応じ看護師や社内医療部による勉強会を開いたり、急変時対応マニュアルに沿って支援出来るように職員間で共有しています。	重度化した場合の対応については「利用者の急変時や重度化した場合等における対応に関わる指針」を契約時に利用者や家族に渡して説明し、同意書を受け取っている。「ターミナルケアマニュアル」があり、会議の折に勉強会を行った。現在まで、看取りの事例はない。	重度化した場合の対応について、研修会を開くなどして、学習の機会を作ることを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入職時の導入研修や社内研修で急変対応や事故対応の研修を行い、発見時の対応や報告が出来るようにしています。また事業所にて川崎市消防局による救命講習も実施し実践力の向上に努めています。	/	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に地域子母口消防署にご協力をいただき、夜間想定避難訓練と消火活動のご指導、質問事項の回答をいただいています。避難訓練は運営推進委員会と同日に行い町内会、包括支援センター職員、ご家族様にもご参加いただき高齢者施設の現状の理解を深めていただいています。	避難訓練は消防署立会いのもと、運営推進会議に合わせて日中想定、夜間想定年2回実施している。消防署からは、いざという時には、防火扉のある階段室まで逃げるよう指導を受けた。避難訓練には、近隣の美容室の方が参加してくれ、家族は利用者の見守りをした。各フロアのリビングに救助袋が設置されている。食料と水3日分、カセットコンロ、オムツなどの防災用品を備蓄している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩であるという事を意識し、常に尊敬と敬意の念を持って接しています。お名前は必ず名字でお呼びし、居室への入室は必ずお声をかけてから行っています。	プライバシー保護や接遇、個人情報保護の研修を行い、適切な言葉づかいや態度を学んでいる。利用者の名前は名字で呼ぶ、居室への入室は必ず声をかけてから入るなど、利用者のプライバシーに配慮している。個人情報に関する書類は鍵のかかる事務室のロッカーに保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	危険な行為や言葉による他者への不快感や不穏、健康状態に支障がない限り自己決定出来るように心がけています。入浴後の着替えではご自身で選んでいただけるように声掛けをしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や更衣、炊事、掃除、洗濯の手伝いなど可能な限りご本人の意向を優先しています。会話の中から意見をくみ取り支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の意思や希望を尊重し、ほとんどの方にご自身で洋服を選んでいただいています。季節に合った身だしなみが出来るように声をかけ、ご家族にお願いし衣替えを行っていただいています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は食材配達業者のメニューに添って職員が3食手作りをしています。入居者様は料理が苦手な方が多いので、負担にならない範囲でテーブル拭きや盛り付け、食器拭き等に参加していただけるように声掛けを行っています。希望により個別で外食へ出かけたり、時にはテイクアウトを利用しバラエティに富んだ食事をお楽しみいただいています。	配食業者から食材を購入し、職員が調理している。毎月15日は「旬のごはんの日」とし、タケノコご飯、五目炊き込みご飯、しらすごはん、お赤飯などを楽しんでいる。昼食は利用者の希望を聞いて、カレーやファーストフード店のお持ち帰り品を利用することもある。誕生日にはケーキを出している。職員は食事介助や見守りをしており、検食は管理者が併設の小規模多機能型居宅介護の管理者と交代で行っている。利用者はテーブル拭きや食器洗いを手伝っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー計算された食材の配達を利用し、施設で調理を行っています。その方にあった形態やご飯の量を調整し提供するとともに、摂取量や水分量の記録を行い、不足の方には好みの飲み物の提供やゼリー状にて提供し水分不足にならない様に工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、個別に応じた対応を実施しています。義歯の洗浄消毒は夜間スタッフが洗浄剤へつけおき管理しています。また歯科往診医から口腔指導を受け、日々のケアに活かしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご本人の尿意や便意の訴えにより誘導・介助を行っています。尿意や便意のない方、うまく伝えられない方には記録により排泄パターンを把握し、時間を見計らって声掛け誘導を行っています。ポータブルトイレは極力使用せずトイレでの排泄を時には二人対応にて支援しています。	自立に向け、利用者ごとの排泄パターンをもとに声かけし、時間を見てトイレに誘導している。日中は全員トイレでの排泄ができる。夜間のみ、オムツを使用している方がいる。失敗した場合はシャワー浴などで対応している。入院時はリハビリパンツを使用していた方が、退院後はパッドと普通のパンツに改善した方がいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動入浴への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人一人の水分量や食事量、排泄の記録を残し便秘の発見と予防に努めています。散歩や体操の声掛けを行いながら、往診医と相談し緩下剤の利用も個々の状態により行っています。		

45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>清潔保持の為にもおおむね週2回の入浴を行っています。ゆず湯やしょうぶ湯等の季節の用意、拒否のある方には気持ちよく入れるような雰囲気作りと声掛けをこころがけています。浴槽への入浴が困難な方にはご家族様了解のもと、シャワー浴＋足浴で対応しています。</p>	<p>入浴は通常週2回、午前中に行っている。毎回お湯を替えて1日に3人入っている。午後の入浴や一番風呂の要望に対応している。入浴を好まない方には対応する職員を変えたり、声かけの仕方を工夫して、入浴を促している。同性介助にも対応している。身体状況により、浴槽に入れない方にはシャワー浴と足浴で対応している。季節感を大切にしている、しょうぶ湯やゆず湯を入れ、利用者が楽しみとなるようにしている。</p>	
----	----	---	---	---	--



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる	それぞれの入居者様が、自由にご自 身の居室やフロアーを行き来し過し ています。ご自身での移動が困難な 方には状態やご希望により休息誘導 を行っています。夜間安眠していただ けるよう、日中の活動も考慮して います。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている	職員2名での服薬確認を実施し飲み 込むまでそばを離れず確実に服薬し ていただくように支援しています。 薬の変更時は特に注意深く観察を行 い、症状の変化を見のがさず往診医 へつなげるように努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活歴や 力を活かした役割、嗜好品、楽しみ ごと、気分転換等の支援をしている	誰かの役に立つことで生活に張り合 いを感じていただけるように努めて います。きれい好きな方、洗濯もの たたみが好きな方、一人一人の楽し みを探り職員間で共有し支援してい ます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援している	近隣への散歩や庭での外気浴は希望 により毎日行うように努めていま す。全員での外出は年1回お花見に 出かけ、他は少人数で外出に出かけ ています。またご家族様の協力をい ただき外出や外食の機会を作ってい ただいています。	天気の良い日には職員が付き添い、車いすの方も一 緒に、近くの蓮花寺や矢上川などに散歩に出かけて いる。コンビニエンスストアに化粧品、おやつ、ア イスクリューム、切手、封筒などを買いに行く方もい る。お花見時期には桜などを見に、蟹ヶ谷公園に出 かけ、お茶とお菓子を食べることもある。日常的に1 階のウッドデッキまで行き、花を見ながら外気浴や お茶を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひとりの 希望や力に応じて、お金を所持した り使えるように支援している	金銭は主に事務所で扱い、使った額 を請求させていただき立替え制で管 理しています。ご家族様からの現金 のお預かりは原則しておりません。 ご自身で管理出来る方は希望によ り、ご家族様了解のもと少額の現金 を所持し近くの商店にて買い物の支 援をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	用事がある時や、家に帰りたいとの訴えがあった時には、ご家族様了解のもと電話をしていただくように支援しています。ご親戚の方、友人の方との電話や手紙の取り次ぎも特にご家族様から制限がなければ行うようにしております。切手の購入や手紙の投函を職員と一緒にいたり、時には職員が代行し、大切な方との関係が続けられるよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やリビングには季節の花を取り入れながら、常に花を絶やすことなく飾り、幼稚な飾り付けではなく大人の落ち着いた空間づくりに努めています。加湿器を置き湿度と温度管理をこまめに行っています。	毎週土曜日に施設長が花を活ける。リビングにソファ、テレビ、加湿機能付空気清浄機が設置されている。リビング壁面には利用者と職員で制作した季節行事の飾りつけや日常生活の写真が掲示されている。職員の顔写真と名前も貼りだされている。各フロア前にベンチが設置されるなど、利用者が一人になったり少人数で過ごせる場所を作っている。職員が朝や夜勤時にモップ掛けや手すりの消毒をして清潔である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居様が自由に気の合う方と居室を出入りし交流をしています。自室で好きなテレビ番組を観たり、横になりラジオを聴いたり自由に過ごしています。共有部分のテーブル席では個人のクッションを利用したりご自身の居場所作りをしていただいています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に使用していた馴染みの家具や、家族写真などをお持ちいただき、自宅に近い感覚で安心して生活できるように、ご家族様と一緒に相談し工夫しています。	居室のエアコン、ベッド、クローゼットは備え付けである。利用者は、加湿器、空気清浄機、チェスト、テーブル、椅子、カーテン、テレビ、ラジカセ、仏壇など馴染みのものを、自由に持ち込んでいます。そのほか、家族の写真、カレンダー、飾り物などを置き、居心地良い空間としている。毎朝の居室掃除の際、拭き掃除を手伝う利用者もいる。	

55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレ・風呂場・共有スペースには手すりを設置するなど安全の確保に努め、個々の自立につながるよう支援しています。また居室前には大きめのネームプレートを設置し確認が出来るように工夫しています。</p>		
----	---	---	--	--

事業所名	花物語たかつ南
ユニット名	ユニット1 (3階)

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設時に作成した理念を玄関、事務室各ユニット、休憩室に掲示し、ユニット会議時に確認を行い、職員全員が理念に添った支援を心がけ少しでもご入居者にとって安心かつ楽しく過ごして頂けるよう支援しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の敬老会やお祭りに参加し散歩時には近隣の方から声をかけていただいています。地元美容院や商店の利用も積極的に行っています。昨年夏には地域の方をお招きし夏祭りを実施しました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設でのイベントにご参加いただいた方へ施設の説明や認知症、介護保険についての説明をしています。また運営推進委員会では介護保険や成年後見制度等の説明を行っています。施設で救命講習を実施した際には近隣の方、地域包括センター職員のご参加もいただきました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月第4水曜日にグループホームと併設の小規模多機能居宅介護と合同で定期的に行っています。2ヶ月間の報告の後、質問やご意見をいただき地域情報を伺い参考にしています。ボランティアのご紹介もいただいています。		

5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センターを定期的に訪問し運営推進会議や施設イベントをお伝えしたり受け入れについてのご相談をいただいています。また今年度から久末地区グループホームの集まりを実施しその際には高津区役所担当者から情報やご意見をいただいています。</p>		
---	---	--	--	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ユニット会議時に「身体拘束ゼロの手引き」をもとに研修を行い職員間で共有しています。施設玄関の施錠については防犯上施錠していますが、入居者様のご希望に応じて職員とともに外出していただいています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	虐待についての研修会を行い、事例検討を含め、どのような場合が虐待になるのかを話し合っています。疑問や問題はユニット会議時に確認し合い理解を深めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についての研修を行い、実際入居者様にも成年後見制度を利用している方もいるため身近に感じる事が出来ています。運営推進会議を利用し成年後見人の方の説明会を実施し理解を深めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては、個々の不安材料を時間をかけ話し合い、ご納得の上でご入居いただいています。特に終末期ケアや医療行為に関する疑問を具体的に説明し、転倒の不安がある方には対応方法の具体例を挙げてご理解をいただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や随時の電話連絡、担当者会議により、ご家族様の意見を取り入れるように努めています。その際には支援経過を記録し職員間で共有しています。また運営推進会議時にボランティアの紹介や食事の要望などいた		

			だいたご意見を運営に反映させています。		
--	--	--	---------------------	--	--



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者へは会社全体の運営会議、川崎地区での会議を通じ施設からの意見や提案を行っています。職員からの意見などは毎月のユニット会議や日々の申し送り時に取り入れ、業務分担の見直しや物品購入等を行っています。また話にくい事は相談窓口の電話番号を掲示しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	契約更新時に個人面談を行い、就業時間の増減や、契約社員や社会保険の加入についての希望、契約条件の確認を行っています。無資格者には、資格取得支援制度などの奨学金制度も整備し案内をしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修の定期的な実施や外部研修への参加、資格取得を推奨するなど、個々のスキルの向上を働き掛けています。導入研修の実習施設として他施設職員の受入や初任者研修の実習生を迎える事で多くの気づきを得ています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市町村等からの研修や連絡会への参加、他施設からの見学を受け入れる事により同業者とのネットワークを構築しサービスの質の向上に努めています。また久末地区グループホームの集まりを持ち他事業者との情報交換や交流も行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の要望や不安を伺い、利用開始前にはアセスメントをしっかりとり、ご家族様からは「私の歴史」「暮らしの情報」もご記入いただき入居後のケアに活かしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が困っている事、不安な事、施設での暮らし方の希望などを伺い、安心してご入居いただけるように職員間で相談し対応しています。入居後も面会の機会をたくさん作っていただけるように声をかけ環境を整えています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談初期の段階で入居者様やご家族様のニーズ、置かれている物理的・精神的環境を考慮し、グループホームが適切か、小規模多機能居宅介護や他サービスの利用が適切かを見極めた施設への紹介も行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	これまでの生活習慣等を考慮に入れ、入居者様のペースで何か役割と思える事、生活のハリとなる事柄が見つけられるように働きかけ、ともに支え合う間柄になる様に努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	常にご家族様の意見を反映できるように、入居者様の意見を共有し一方通行にならない様に努めています。施設行事への参加の案内、外食や面会時一緒に食事を摂っていただく機会を設け		

			<p>るなどの支援を行っています。 外部受診時の付き添いや居室の 衣替えなど出来る範囲内でご協 力をいただいています。</p>		
--	--	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様や親戚の方、友人などからの電話の取り次ぎ手紙の投函などご希望に添うように努めています。また面会時には居室にテーブルとお茶を運びゆっくりくつろいでいただける環境を作っています。入居者様から行きたい場所など外出の希望を伺ったときはご家族に繋ぎご協力をいただき行っています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の出来る事、出来ない事を把握し無理なく参加できる場への声掛けや役割を作りだすように努めています食事席の配置などにも気をつけています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご退居先の病院への面会や、ご家族様への手紙や電話で、困った事等ご相談していただけるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケアの中での会話や行動から、思いや希望を把握し申し送り時やカンファレンス時に職員間で共有しています。思いを表現できない方は声掛けの方法を工夫したり、ご家族様から以前の様子を伺い把握に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人からの聞き取り、ご入居前の担当ケアマネージャーからの情報、ご家族様からの「私の歴史」「暮らしの情報」をご記入いただく事により把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送り時やカンファレンス時に職員からだされた情報を職員間で共有しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員一人一人の日々の小さな変化や気づきの把握と個人記録への支援項目実施内容の記入等をもとに再アセスメント時には担当職員も協力して行い、介護計画に反映させています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に時間ごとのご様子や入居者様の発言等を記録しています。また介護計画書の実施状況の記入も行い職員全員が介護計画書に添ったケアを日々心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に現状必要なサービス、今後必要なサービスは何かを考え、本人と家族の関係性を考慮しながらかかりつけ医の受診支援、申請代行などに取り組んでいます。入居者様、ご家族様の要望があった際には該当するサービスを取り入れています。（訪問マッサージ）		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方のボランティアの受入れ、近隣の美容室などの利用を通し豊かな暮らしを支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医による月2回の往診を受けていただき心身状態の把握と適切な医療を受けられるよう支援しています。入居者様から直接医師に希望を伝える場合もありますがご家族様からの希望や方向性を伺ったときは、事業者が間に入り伝えています。また直接往診に合わせてお越しいただき往診医とお話をさせていただき事もあります。耳鼻科や整形外科、物忘れ外来等の専門医への外部受診はご家族様対応が基本ですが、状況により職員が対応しています。外部受診の際には必要に応じ往診医からの情報提供書を発行していただき連携に努めています。		

31	<p>○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者様の情報は申し送り時や申し送りノートに記載し職員、看護職員間で共有しています。看護職員は看護記録に記載し適切な情報が往診医に伝えられるように取り組んでいます。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は施設での様子や往診医からの情報提供書を迅速に提供し関係作りに努めています。ご家族様と連携し面会や必要な日用品の届け、ムンテラへの同席、ソーシャルワーカーとの連絡などを行い退院後の支援に活かしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	指針について入居契約時に説明し同意書をいただいています。病気については状態の変化に応じ早い段階でご家族様と十分に話し合い往診医と連携を取り、話し合いの場を作っています。施設内では必要に応じ看護師や社内医療部による勉強会を開いたり、急変時対応マニュアルに沿って支援出来るように職員間で共有しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入職時の導入研修や社内研修で急変対応や事故対応の研修を行い、発見時の対応や報告が出来るようにしています。また事業所にて川崎市消防局による救命講習も実施し実践力の向上に努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に地域子母口消防署にご協力をいただき、夜間想定避難訓練と消火活動のご指導、質問事項の回答をいただいています。避難訓練は運営推進委員会と同日に行い町内会、包括支援センター職員、ご家族様にもご参加いただき高齢者施設の現状の理解を深めていただいています。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩であるという事を意識し、常に尊敬と敬意の念を持って接しています。お名前は必ず名字でお呼びし、居室への入室は必ずお声をかけてから行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	危険な行為や言葉による他者への不快感や不穏、健康状態に支障がない限り自己決定出来るように心がけています。入浴後の着替えではご自身で選んでいただけるように声掛けをしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	入浴や更衣、炊事、掃除、洗濯の手伝いなど可能な限りご本人の意向を優先しています。会話の中から意見をくみ取り支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の意思や希望を尊重し、ほとんどの方にご自身で洋服を選んでいただいています。季節に合った身だしなみが出るように声をかけ、ご家族にお願いし衣替えを行っていただいています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は食材配達業者のメニューに添って職員が3食手作りをしています。入居者様は料理が苦手な方が多いので、負担にならない範囲でテーブル拭きや盛り付け、食器拭き等に参加していただけるように声掛けを行って		

			<p>ます。希望により個別で外食へ出かけたり、時にはテイクアウトを利用しバラエティに富んだ食事をお楽しみいただいています。</p>		
--	--	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー計算された食材の配達を利用し、施設で調理を行っています。その方にあった形態やご飯の量を調整し提供するとともに、摂取量や水分量の記録を行い、不足の方には好みの飲み物の提供やゼリー状にて提供し水分不足にならない様に工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、個別に応じた対応を実施しています。義歯の洗浄消毒は夜間スタッフが洗浄剤へつけおき管理しています。また歯科往診医から口腔指導を受け、日々のケアに活かしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご本人の尿意や便意の訴えにより誘導・介助を行っています。尿意や便意のない方、うまく伝えられない方には記録により排泄パターンを把握し、時間を見計らって声掛け誘導を行っています。ポータブルトイレは極力使用せずトイレでの排泄を時には二人対応にて支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人一人の水分量や食事量、排泄の記録を残し便秘の発見と予防に努めています。散歩や体操の声掛けを行いながら、往診医と相談し緩下剤の利用も個々の状態により行っています。		

45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>清潔保持の為にもおおむね週2回の入浴を行っています。ゆず湯やしょうぶ湯等の季節の用意、拒否のある方には気持ちよく入れるような雰囲気作りと声掛けをこころがけています。浴槽への入浴が困難な方にはご家族様了解のもと、シャワー浴＋足浴で対応しています。</p>		
----	----	---	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	それぞれの入居者様が、自由にご自身の居室やフロアを行き来し過しています。ご自身での移動が困難な方には状態やご希望により休息誘導を行っています。夜間安眠していただけるよう、日中の活動も考慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員2名での服薬確認を実施し飲み込むまでそばを離れず確実に服薬していただくように支援しています。薬の変更時は特に注意深く観察を行い、症状の変化を見のがさず往診医へつなげるように努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	誰かの役に立つことで生活に張り合いを感じていただけるように努めています。きれい好きな方、洗濯ものたたみが好きな方、一人一人の楽しみを探り職員間で共有し支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣への散歩や庭での外気浴は希望により毎日行うように努めています。全員での外出は年1回お花見に出かけ、他は少人数で外出に出かけています。またご家族様の協力をいただき外出や外食の機会を作っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭は主に事務所で行い、使った額を請求させていただき立替え制で管理しています。ご家族様からの現金のお預かりは原則しておりません。ご自身で管理出来る方は希望により、ご家族		

			様了解のもと少額の現金を所持し近くの商店にて買い物の支援をしています。		
--	--	--	-------------------------------------	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	用事がある時や、家に帰りたいとの訴えがあった時には、ご家族様了解のもと電話をしていただくように支援しています。ご親戚の方、友人の方との電話や手紙の取り次ぎも特にご家族様から制限がなければ行うようにしております。切手の購入や手紙の投函を職員と一緒にいたり、時には職員が代行し、大切な方との関係が続けられるよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やリビングには季節の花を取り入れながら、常に花を絶やすことなく飾り、幼稚な飾り付けではなく大人の落ち着いた空間づくりに努めています。加湿器を置き湿度と温度管理をこまめに行っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様が自由に気の合う方と居室を出入りし交流をしています。自室で好きなテレビ番組を観たり、横になりラジオを聴いたり自由に過ごしています。共有部分のテーブル席では個人のクッションを利用したりご自身の居場所作りをしていただいています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に使用していた馴染みの家具や、家族写真などをお持ちいただき、自宅に近い感覚で安心して生活できるように、ご家族様と一緒に相談し工夫しています。		

55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ・風呂場・共有スペースには手すりを設置するなど安全の確保に努め、個々の自立につながるように支援しています。また居室前には大きめのネームプレートを設置し確認が出来るように工夫しています。		
----	--	---	---	--	--



# 目 標 達 成 計 画

事業所名 花物語たかつ南

作成日 平成27年5月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	33	重度化した場合の対応について、研修会を開くなどして、学習の機会を伴うこと	職員全員が重度化について学び考える機会を持つ	外部研修への職員の参加 各フロアごとの研修会の実施。	平成27年度末
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。  
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。